

杏プロジェクトと都市伝説

先週の体育大会で、生徒たちはもてる力を出し切り、係活動をしっかりと勤め上げてくれました。活躍の様子はホームページ等でお知らせいたしますので、少々お待ちください。

さて、本校の「高松の森を学びの森へ計画」として、自生する植物の収穫を介して各自（任意参加）の役割と収穫に向けた活動を学ぶほか、地域の方との交流も行う杏プロジェクトを行ってまいりました。

予想を超える地域住民の参加希望の皆さんとのやりとりで、都市伝説か？と思ってしまう情報が出回っていることに、SNS上の適切な情報発信と情報の真偽について感慨深い経験をしましたので、本誌面でお知らせしたいと思います。

『高松の森で清掃活動したら、杏がもらえるんですね』

『高松の森で草むしりをすれば、杏をくれると聞いた』

『高松中学校に行くと、杏の料理を食べたり一緒にジャムを作ったりして、ジャムをもらえると聞いた』



これらを聞いたときに、なるほどと今後の参考にもなりそうな内容だと思いました。それと同時に Facebook 等で見たという方がすぐに反応してお電話をしてくれたことを考えると、杏の収穫と一緒にしませんかという内容しか広報担当の生徒のポスターには記載していないのに、上記のようなとらえ方をするとは……。この拡大解釈はどうやら、どなたかが Facebook に載せてお友達内で拡散されたものが、尾びれ、背びれだけではなく胸びれまでの追加情報が付いたのかもしれませんが、たかが杏の収穫、されど杏の収穫ですね。それ以上は大きなトラブルもなく今に至っていますので、ご安心ください。

事実と憶測の境界を意識して情報を判断する力が大切だと、再認識しました。

また、都内在住、区外在住の方達からも参加希望のご連絡がありましたが、お断りをさせていただきました。

校舎に隣接の地域に限定させていただくほどの人数が集まったためです。白金三丁目、三田地区、港南地区の皆様には大変申し訳ありませんでした。本校の高松の森が皆様に親しまれている証と実感できました。

この教育資源としても大きく貢献できる高松の森をよりよい学びの森であり、地域の方々の交流の場となる場所としても機能できるようにしていきたいと思っております。

なお、杏プロジェクトについては、本校ホームページをご覧ください。

プロジェクトメンバーたちが体育大会練習、部活動、塾、習い事等の合間での頑張りを知っていただくと幸いです。

少し、傷んでいるけれど、ジャムなどに加工する分には使える杏もあります。

